

臨床研究「大動脈逆流症の重症度やリスク評価に関する検討」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

大動脈弁逆流症は長い年月をかけて徐々に進行することが多く、弁膜症の中でも症状が出現しにくいことが知られています。そのため症状が出現したときには心機能の低下が進んでしまっていることがあります。そのような事態を避けるために、大動脈弁逆流症の重症度を正確に評価し、経時的な変化を見逃さずに治療の時期を判断することが必要です。大動脈弁逆流症の評価は心エコー図検査で行われることが多いですが、現在、その評価法や治療適応判断として用いられている指標について様々な限界があることが指摘されており、さらなる検証が必要と考えられています。

本研究において、大動脈弁逆流症のより正確な重症度評価法を確立し、治療適応判断のための指標の妥当性を評価することで、将来的には大動脈弁逆流症の患者さんの治療に役立つ知見が得られると考えられます。

② 研究対象者

2012年4月1日から2023年3月31日までの間に当院に通院されている中等度以上の大動脈弁逆流を有する患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

④ 研究の方法

本研究の対象となる患者さんは、当院に通院されている中等度以上の大動脈弁逆流を有する患者さんです。通常の検査、診療記録から得られる情報を登録し、解析させていただきます。

⑤ 試料・情報の項目

検査画像および診療記録から下記の項目を調査します。

- ・基本項目：性別、年齢、身長、体重、血圧、脈拍、併存疾患の有無など。
- ・診療上の必要により行われる検査のデータ：血液検査、心エコー図検査、心臓MRI検査、心臓カテーテル検査、24時間血圧計検査など
- ・治療内容と臨床経過

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

行いません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学循環器内科 助教 町野智子

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 循環器内科（講師 石津智子，助教 町野智子）

電話： 029-853-3143（循環器内科医局 対応可能時間 平日 9:00～17:00）

FAX： 029-853-3227